

わが支部の魅力はここにあり

中国  
支部

## ユニークな講習会と 運営の効率化に挑む

會澤 邦夫

島根大学総合理工学部  
数理・情報システム学科



中国支部は昭和 59 年 3 月に設立された支部である。中国支部の管轄は、広島、山口、島根、鳥取、岡山の 5 県である。会員数は平成 20 年 8 月現在で 692 名であり、各支部と比較すれば 5 番目の小規模な支部である。残念ながら近年は正会員・学生会員・賛助会員ともに若干の減少傾向にある。

支部の活動には中国地方の関連企業の方々を始めとして、大学や高専の先生方に多大のご協力をいただいている。支部としては会員数の増加を目指して、企業の方々、また学生に対して宣伝活動を行っている。主に学生に重点を置いた表彰制度や支部 Web ページに賛助会員の社名とロゴを掲載しているのもその一環である。

### ■ 中国支部の活動

中国支部の主な活動は以下のとおりである。

- 総会(年 1 回, 5 月開催)
- 特別講演会(年 1 回, 支部総会開催時)
- 講演会(12 回程度, 主催・共催含む)
- 講習会(年 1 回, 11 月頃)
- 見学会
- 研究会の後援(年 10 件程度)
- 電気・情報関連学会中国支部連合大会(共催, 10 月頃)
- 連合大会特別講演(連合大会開催時)
- 情報処理学会中国支部優秀論文発表賞
- 情報処理学会中国支部奨励賞

電気・情報関連学会中国支部連合大会は電子情報通信学会、電気学会、照明学会、電気設備学会、映像情報メディア学会との協力の下に開催しており、毎年約 300 件以上の発表が行われている。情報処理学会中国支部と上記の 5 学会に計測自動制御学会、日本電気技術者協会の 2 学会を加えた計 8 学会で互いの講習会・講演会を共催している。

また講習会は評議員・幹事会の席上で役員の方々にさまざまな意見をいただき、毎年ユニークなテーマで開催している。最近 2 年間のテーマおよび内容について以下に記しておく。

### 平成 19 年度(開催地: 広島市)

テーマ:「コモンクライテリアとセキュリティ保証製品開発の実際」

プログラム

1. 「情報セキュリティ保証の意義と評価認証制度」  
情報セキュリティを保証することの意義と評価認証制度について紹介  
田淵治樹氏((独)情報処理推進機構セキュリティセンター)
2. 「保証のための情報セキュリティ機能の開発手法」  
商用の製品に求められる、基本設計、アーキテクチャ設計、機能仕様、設計、実装、マニュアル作成、テスト、侵入テスト、脆弱性分析、開発環境のセキュリティなどにかかわる要求内容を解説  
田淵治樹氏((独)情報処理推進機構セキュリティセンター)
3. 「デジタル複合機におけるセキュリティ認証の実際」  
デジタル複合機におけるセキュリティ認証について、必要性、ビジネス的な意義、開発者の立場から評価認証の実際を紹介  
岩崎章彦氏(シャープ(株)ドキュメント事業本部)

### 平成 20 年度(開催地: 松江市)

テーマ:「ものづくりの体制と企業内 IT 部員育成の実際」

1. 「新日本製鐵における計算機技術の歴史と最近の IT 技術適用事例紹介」  
鉄鋼製造現場への計算機技術導入の歴史と、最近の IT 技術適用事例、および IT 技術者の育成事例を紹介

氏名	発表時所属	受賞題目
朝川 恭子	宇部工業高等専門学校 経営情報工学専攻	HMMを用いた音高推移の推定と楽曲検索への応用
井上 浩孝	呉工業高等専門学校 電気情報工学科	Efficient Incremental Learning using Self-Organizing Neural Grove
熊谷 崇	NHK山口放送局	地上デジタル簡易監視システムの開発
福島 行信	岡山大学大学院 自然科学研究科	同時多発イベント検出を目的とした階層型変化点検出機構の性能評価
藤井 洋一	広島大学 工学研究科	3入出力2状態可逆論理素子によるロータリー素子の直接的構成

表-1 平成19年度情報処理学会中国支部優秀論文発表賞受賞者(50音順)

氏名	発表時所属	受賞題目
池田 隼	岡山県立大学大学院 情報系工学研究科	画像処理を用いたパノラマ画像の位置・方位推定
王 建	岡山大学大学院 自然科学研究科	モバイルエージェントフレームワークにおける地図情報データベースの作成
大森 達典	大島商船高等専門学校	無線LANを利用した災害時情報伝達システム構築実験とその評価
岡田 慎司	広島大学 工学部	VNS組換え改良によるグラフ点彩色問題解法の性能強化
加藤 友哉	鳥取大学大学院 工学研究科	リアルタイム読唇のための口部形状認識
川中 洋祐	広島市立大学大学院 情報科学研究科	正規表現のサブクラスをパターンとするストリングマッチングハードウェア
佐藤 圭悟	山口大学大学院 理工学研究科	ユーザの判断を利用した二次検索法の検討
平岡 宏史	広島国際大学 情報通信学科	IEEE802.11DCFにおけるブロードキャスト受信率方式に関する一検討
松岡 秀実	徳山工業高等専門学校	SOMによる蛋白質情報を用いた癌細胞の分類手法の一考察
安井 淳美	松江工業高等専門学校	視覚的注意と瞬目波形に関する予備的検討

表-2 平成19年度情報処理学会中国支部奨励賞受賞者(50音順)

上田豊彦氏(新日本製鐵(株)技術開発本部環境・プロセス研究開発センター システム制御技術部システムエンジニアリンググループリーダー)

## 2. 「日立製作所におけるIT部門の人材育成と企業内キャリアパス」

企業のIT人材の育成とキャリアパス、そして今後求められる役割について当社の事例に基づき、人事および人材育成の観点から紹介

高橋知史氏((株)日立製作所情報システム事業部人事部長)

- 総会委任状作成支援
- 会計帳票作成・領収書・通帳管理他作業支援
- 総会・特別講演会調整支援
- 講演会対応支援
- 講習会対応支援
- 幹事会・評議会対応支援

これで事務局のすべての作業が委託できるわけではないが、事務局担当者の負担がかなり軽減できるはずである。この外部委託の形として、最も望ましい形は連合大会を共催している各学会の中国支部が一致して外注を行うことであるが、各学会ごとに事情がさまざまであるので、残念ながらまだその段階まで話が詰められてはいない。中国電力、NTTなどの有力企業が他学会中国支部の事務局を引き受けているが、情報処理学会中国支部にはそのような支持母体がなく苦しい状況にある。

この計画は将来的な中国支部の発展に非常に重要であると認識されているので、今後も検討が続けられるはずである。

**謝辞** 本稿をまとめるにあたり、現支部長の田中章司郎先生を始め、事務局担当の鈴木貢先生の多大なご支援をいただいた。このような栄誉ある機会を与えていただいたことに大いに感謝したい。

(平成21年1月31日受付)

## ○ ご用とお急ぎでない方に

情報処理学会中国支部 Web ページ

<http://www.ipsj.or.jp/sibu/tyugoku/chughome.html>

會澤 邦夫 (正会員)

aizawa@cis.shimane-u.ac.jp

昭和57年広島大学大学院環境科学研究科環境科学専攻修士課程修了。同年同大工学部助手。昭和63年同助教授。平成12年島根大学総理工工学部教授。平成19年より情報処理学会中国支部評議員。平成20年より情報処理学会中国支部幹事も兼務。

## ■ 表彰制度

中国支部では連合大会での発表をもとに、優秀な論文を情報処理学会中国支部優秀論文発表賞として表彰している。また学生の発表の中で優れたものを情報処理学会中国支部奨励賞として表彰している。それぞれの賞の受賞者には表彰状、トロフィー、副賞(図書券)などを贈っている。表彰式は例年支部総会時に行われ、平成19年度は表-1 および表-2 に示す方々が受賞された。

## ■ 今後の中国支部の発展に向けて

現在、支部事務局としての作業は支部長の所属する組織の者が担当することとなっている。現支部長は島根大学の田中章司郎先生で、事務局は同大学の鈴木貢先生がお引き受けになっている。この事務局の作業は本業がある方が片手間に行くにはあまりに大仕事であり、今後支部長の交代や担当者の転出などで支部事務局の活動がうまく働かなくなる可能性も十分にある。

そこで、中国支部では現支部長を中心として定型的な支部事務作業の外部委託を計画当中である。外部委託を検討している項目には以下のような作業が含まれている。